

静岡県浜松市における光文字による医療従事者への感謝の気持ちのメッセージ

取組開始時期	2020年4月	取組の カテゴリー	⑦ 災害対策・防災・減災	応募部門 (○を付ける)	○	PF会員間連携部門	一般部門
--------	---------	--------------	--------------	-----------------	---	-----------	------

1. 団体名	パイフオトニクス株式会社	2. 連携先の 団体	◎静岡県浜松市
--------	--------------	---------------	---------

3. 取組 目的	新型コロナウイルス感染症の拡大が続く中、最前線で働く医療・介護従事者などの皆さまへ感謝の気持ちを伝える	4. 関連する ゴール	 
-------------	---	----------------	---

5. 取組経緯

過去に筋痛性脳脊髄炎／慢性疲労症候群の世界啓発デーに、浜松市役所の屋上から浜松城をブルーライトアップした実績などから、今回、浜松市役所からの提案を受け、医療・介護従事者などの皆さまへ感謝の気持ちを伝えるため、「アリガトウ」の大きな光文字を投光しました。

6. 取組概要（100字以内） ※1次選考にて、投票ページに掲載します

JR浜松駅ビル「メイワン」の北側壁面に医療・介護従事者などの皆様へ感謝の気持ちを表す「アリガトウ」、「ハート」、「レインボウ」の光文字によるライトアップを実施いたしました。

画像（会員投票の際のサムネイル）



取組のポイント（3つの視点）

地方創生SDGsの視点

- ・「5. ジェンダー平等を実現しよう」においてLGBTQ+の象徴になる虹を架けることは、ジェンダーフリーで多様性を認める社会の実現を後押しするものと考えます。
- ・「16. 平和と公正をすべての人に」において平和と希望の象徴でもある虹を架けることは、人々の心を安定させ、平和な社会の実現を後押しするものと考えます。

ステークホルダーとの連携

- ・ライトアップ機材を設置する道路の管轄は行政、ビルの管轄は民間など管理主体が違うことも課題で、官民の連携が必須である。駅ビルの関係者や設置現場の調整を浜松市が先導することでスムーズなライトアップが可能となった。

モデル性・波及性

- ・巨大な光文字はインパクトが大きく、3社の新聞掲載がされました。
- ・Twitterと連動して市民の声をリアルタイムに光文字で投光することが可能な仕組みに発展しております。

7.取組詳細（取組内容の詳細及び取組によって得られた成果、今後の方向性等）

<取り組み内容>

JR浜松駅ビル「メイワン」への光文字の投光を皮切りに期間中に合計3か所に規模を拡大して医療・介護従事者などの皆様への感謝の気持ちを表すライトアップを実施。

取り組み①

日程：2020年4月24日から5月29日 毎週金曜日

場所：メイワン北側壁面

内容：ホロライト・カタカナを用いて「アリガトウ」の光文字、ホロライト・レインボウ、ホロライト・ハートを用いて大きな虹とハートを投光

取り組み②

日程：2020年5月15日から5月29日 毎週金曜日

時間：18時30分から20時

場所：一条タワー南東壁面（旭町交差点側）

内容：ホロライト・レインボウ、ホロライト・ハートを用いて地上から大きな虹とハートを投光

取り組み③

日程：2020年5月29日金曜日19時から20時半頃

場所：浜松市役所 東側壁面（静岡県浜松市中区元城町103-2）

内容：ホロライト・カタカナを用いて「アリガトウ」の光文字、ホロライト・レインボウ、ホロライト・ハートを用いて大きな虹とハートを投光

<得られた成果>

ライトアップを見た市民からもエールの声が届き、最前線で闘う医療・介護従事者などの皆様へ想いを繋ぐ架け橋になることができました。



JR浜松駅ビル「メイワン」へのアリガトウ・ライトアップ



JR浜松駅北口「一条タワー」へのレインボウ・ライトアップ



浜松市役所のアリガトウ・ライトアップ